

## ○教員選考個人調書（第2号様式）（記入上の注意）

- ①について 満年齢は当該候補者の発令希望年月日当日における年齢を記入すること。
- ②について 採用又は昇任後の職名及び所属学科等を記入すること。
- ③について 現在、大学、短期大学、高等専門学校及び高等学校等に勤務している者については、現職名、所属学部学科（教養科にあつては担当授業科目名）を、企業等に勤務している者については、会社名、所属部課係名又は試験所名、現職名を記入すること。
- ④について 昇任の発令希望年月日は、原則として1月1日、4月1日、7月1日及び10月1日とする。
- ⑤について 担当授業科目を記入すること。
- ⑥について ア 大学等名及び卒業（修了）年月を記入すること。  
イ 大学院修了の場合は指導教官名を記入すること。ただし、学部卒業以下の場合は要しない。  
ウ 大学院研究科中退の場合は、最終学歴（大学名）及び大学院在学期間等を記入すること。
- ⑦について 学位又は称号を有する者について記入すること。博士又は修士の学位を有する者については、修得年月日及び修得大学等を（ ）書きすること。
- ⑧について 古い順に専任（常勤）、兼任（非常勤）の別を明記し、（ ）内には、年数を記入すること。
- ⑨について 担当授業科目に関連のあるものについて記入すること。
- ⑩について 発令希望年月まで勤務した場合の教歴及び職歴の年数を記入し（ ）内には高等専門学校における教歴及び職歴を内数で記入すること。ただし、非常勤歴は、算入しないこと。
- ⑪について 過去に選考又は資格認定を受けたことがある者について、その選考又は資格認定の年月、申請職名又は資格認定職名及び学科名（教養科にあつては授業科目名）を古い順に記入すること。
- ⑫について 主事及び主事補の経歴についてのみ記入すること。
- ⑬について 学級担任歴、クラブ等の顧問、学科主任及び各種委員会等の委員長歴等について、その期間及び職名を記入すること。
- ⑭について 研修歴、文部科学省内地研究員、文部科学省在外研究員等の研究歴及び賞罰事項を記入すること。
- ⑮について 教育・研究上、顕著な業績について記入すること。  
（例えば、大臣賞、学会賞、発見、発明、特許、業界内外又は企業内の技術関係の賞、招待講演、プロジェクトリーダー等企業での各部門における実績を示すもの等）
- ⑯について 日常の教育実践が極めて優れている教育については、その概要を具体的に記入すること。

## ○著書・論文等一覧（第3号様式）（記入上の注意）

- 1 著書・論文等について、発表年月日の古い順にすべて記入すること。ただし、特にその数が多い場合には、適宜選択の上、記入すること。なお、出版（掲載）予定のものについては、出版社又は学会等の発行する原稿受理証明書又は掲載証明書等の写を添付すること。
- 2 今回「著書・論文等の概要」（第4号様式）添付分については、「整理番号」欄の該当番号を○で囲むこと。
- 3 「使用の有無」欄には、過去の教員選考又は資格認定申請において審査対象とされたもの（著書・論文等の概要を添付したもの）について、○印を付すこと。
- 4 日本工業規格A4版縦型とする。

## ○著書・論文等の概要（第4号様式）（記入上の注意）

- 1 最適と思われる著書、論文等について作成すること。（5件以内）
- 2 「共著」の場合は、記載されている共著者全員をその順番に備考欄に記載すること。また、**本人の執筆部分を概要欄に明記すること。**
- 3 「整理番号」欄は、第3号様式と一致すること。
- 4 美術分野等における業績については、著書、論文の他、作品（又はその写真）等がある場合は提出すること。
- 5 日本工業規格A4版縦型とする。